

# 楽しく！ 楽しんで！ 楽しかった！

部長 福島 眞一

2022年10月8日(土)に中西部部会を開催しました。147名の方に登録をいただき、ANAクラウンプラザホテル大阪 万葉の間がいっぱいになりました。

3年ぶりの開催となった今回の中西部部会には、ワイズの関係者以外の方にたくさん参加していただくとう色々な人に声をかけ、ワイズの関係者が115名、以外の方が32名となりました。

第1部の式典では、大阪YMCA 小川健一郎総主事と西日本区 田上正理事にご挨拶をいただきました。中西部の役員と新入会員の 藤井考三ワイズを紹介しました。

第2部の講演では、田上正理事に「救命から看取りまで」—35年前に取り組んだECMOの研究、緩和ケア専門医として在宅医療と地域医療について—と題して、医師として今までやってきたことを話していただきました。種子島で生まれ、熊本で医師となり、緩和ケア専門医として請われて東京の大学に変わり、退職後は熊本に戻って在宅診療をしておられる事を話されました。基本は、患者さんの立場に立ってが大切だと。「Hope for the best, prepare for the worst」、人生の最後までを話していただきました。

第3部は、お食事と歓談。参加者の紹介と進みました。食事が一段落したところで木谷悦子さんのクロマチックハーモニカ演奏がありました。“アメージンググレイス”の演奏が始まると、今までのハーモニカ演奏のイメージと違っての大迫力に皆さんが引き込まれているのがよく分かりました。木谷さんの話も上手で、“恋人よ”“リベルタンゴ”“川の流れるように”が演奏されたときには、今日の部会は皆さんに満足して帰っていただけると確信しました。スタンディングオペレーションが起こり、アンコールとして中島みゆきの“糸”が演奏され、これも大変素晴らしかったです。

今年中西部は、“コミュニケーション！”と“楽しい！”をキーワードとしています。皆さんにワイズの活動は、“楽しく！ 楽しんで！ 楽しかった！”と再認識し、実感していただけたと思います。

この会の運営に携われた中西部の皆さん、土佐堀クラブの皆さんに感謝申し上げます。

参加してくださった皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

